

埼玉県総合リハビリテーションセンター E S C O 事業に係る E S C O 提案審査の講評について

本事業は、社会福祉施設（病院併設）についての E S C O 提案公募であり、施設の特性を考慮した提案について、あらかじめ改修内容を特定することなく、応募者のノウハウを生かした独自性のあるものを広く求めました。

埼玉県における事前の省エネルギー診断では、14%の省エネルギー率を見込んでいましたが、各応募者の提案は、いずれもこの値を上回る高い省エネルギー効果が見込まれる内容となっており、地球環境に配慮した提案も多くありました。

これらの E S C O 提案を、事前に公表している E S C O 提案審査要領に従い、提案書さらには応募者によるプレゼンテーションなどを基に、公正かつ客観的に評価しました。

その中で、株式会社エネルギーアドバンス・株式会社荏原製作所・三機工業株式会社・三菱電機株式会社の提案は、コージェネレーション設備などの最先端技術の導入、光と自然の融和による照明器具の高効率化、人に優しい環境づくりなど、バランスが取れた優れたもので、具体性・妥当性が最も高く、資金調達計画も信頼性が高いものでした。

また、富士電機株式会社・株式会社シーエナジー・株式会社都市設備計画・株式会社アライ設計・株式会社島村工業の提案は、コージェネレーションの採用と排熱回収型冷凍機の新設、機器の高効率運転などにより、高い省エネルギー率と大きな光熱水費削減効果が提示されていました。

その結果、総合評点の高い株式会社エネルギーアドバンスのグループの提案を最優秀提案とし、次点の富士電機株式会社のグループの提案を優秀提案とすることとしました。

最後に、多大なる労力をおかけし、貴重な御提案をいただいた応募者各位に心からお礼申し上げます。

平成15年3月31日

総合リハビリテーションセンター E S C O 事業提案検討選定会議

委員長	高村淑彦
副委員長	今井大輔
委員	在塚礼子
委員	田中伸興
委員	飯田 勝